

高千穂

天岩戸伝説

高千穂町
ひむかの中でも
最北部に位置する
神話の里です

柱状節理で有名な高千穂峽は
太古の昔から
神秘的な姿を見せています



古代の人々が海側から
高千穂へ行くには
五ヶ瀬川沿いに歩いて
登ったことでしょう



山の重なりを
いくつも越えて
しだいに山の奥へと分け入ると

山が谷の両側から迫り
空が狭くなってきます

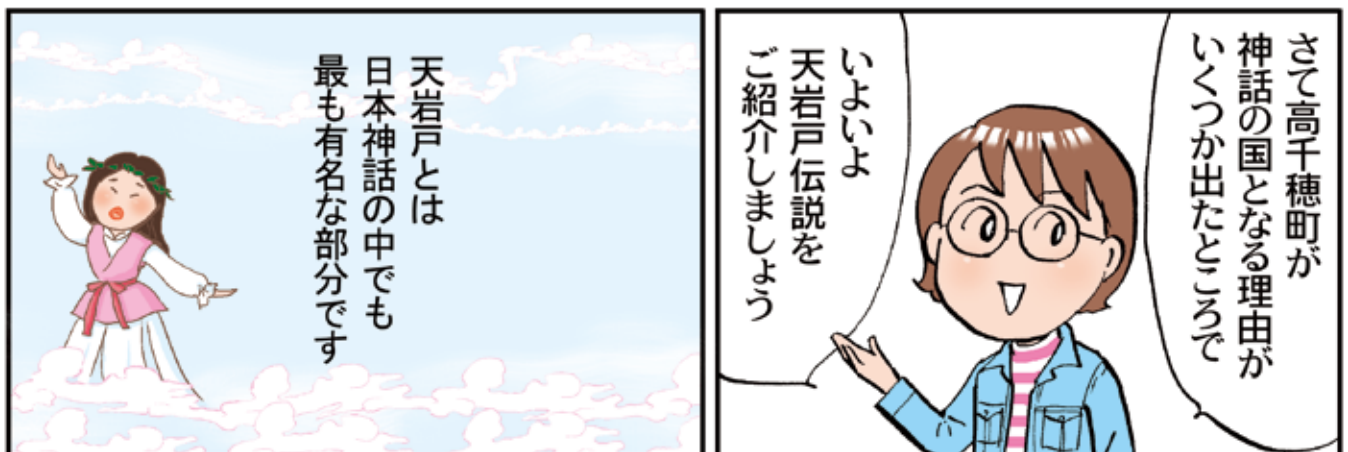
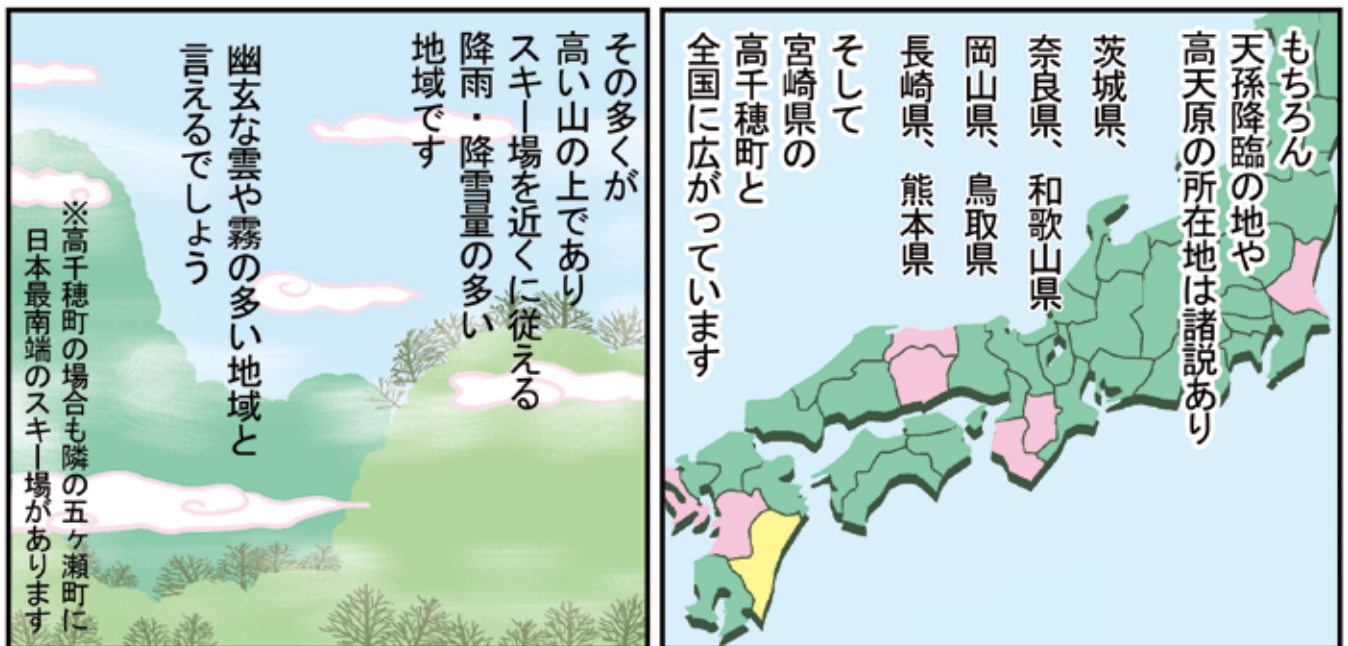
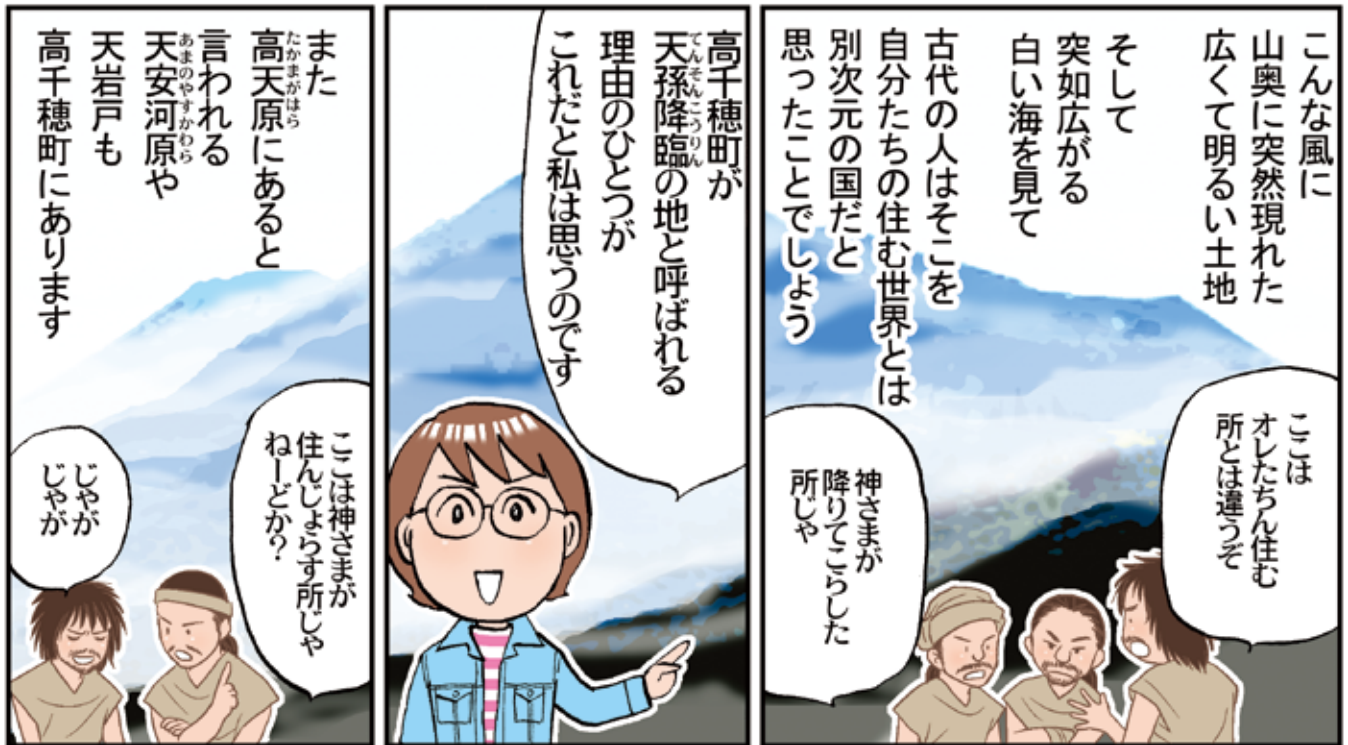


しかし

高千穂の地に
到着した彼は
驚くはずだ





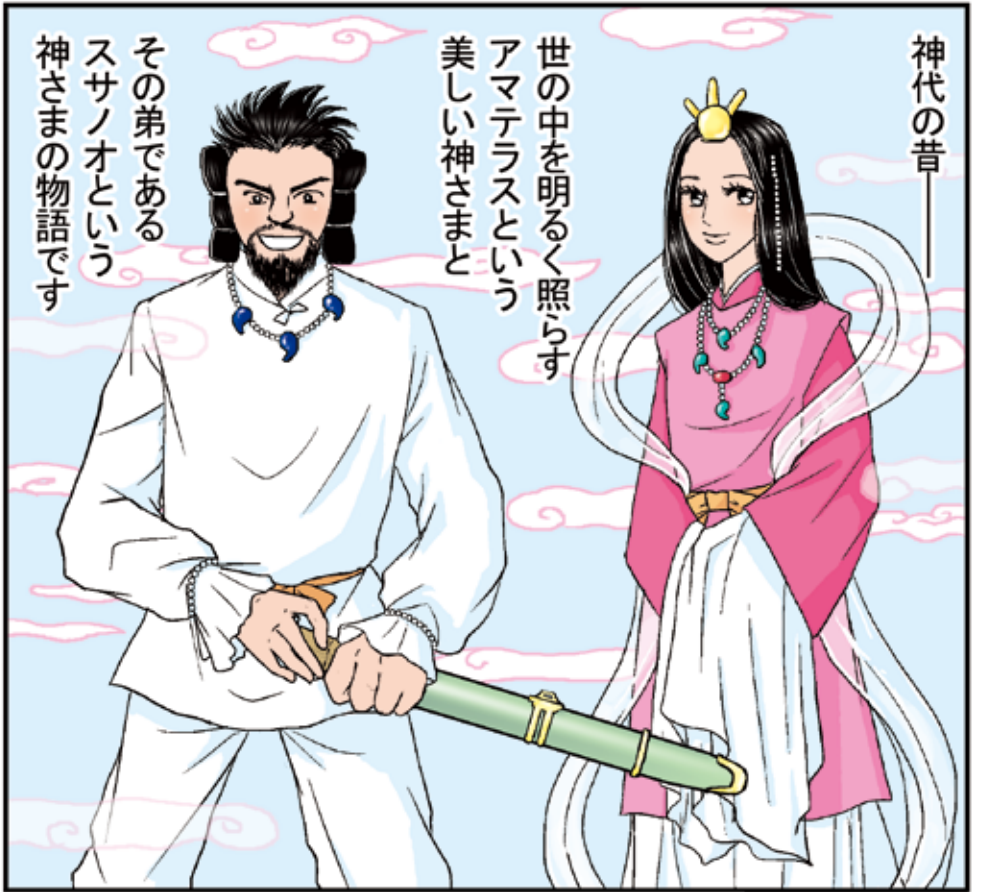


神代の昔――

世の中を明るく照らす
アマテラスという
美しい神さまと

その弟である
スサノオという
神さまの物語です

神々たちは
世の中をきちんと
形づくっていかねば
ならないのに
あばれん坊のスサノオは
ひどい悪さ
ばかりしていました



姉のアマテラスは
それに腹を立て

スサノオ!
そんな悪さばかりするなら
もう知りません!

天岩戸へ入り
かくれてしまったのです



すると
それまで
明るく輝いてた世界が
一瞬にして暗闇に!!

かあ

ぎゃあ

きー

いてて

ひー

おい
やめろ!

なに
するんだ

世の中は
大変な混乱に
おちいったのです!



困りはてた
神さまたちは

アマテラスを
外に出すための
会議を開きました



そのとき神々が集まった場所が
天安河原
今は広い洞窟の奥に
鳥居がたてられています

冷たい水が流れる
川のほとりなので
夏でも
ひんやりした空気が漂う
幽玄な場所です



さて
ここに集まった神さまは
機嫌をそこねた
アマテラスの気をひこうと
一大パーティを
開催しました

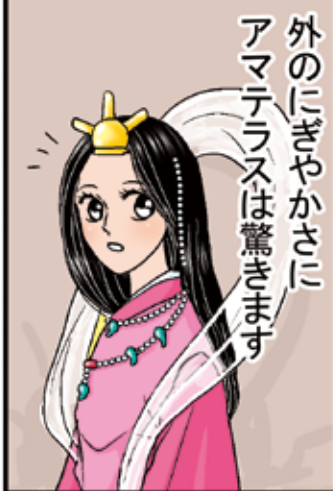
楽しく歌って
踊って飲んでさわいで
出てきてもらおうという
算段です



踊りは
アマノウズメ
わざと
面白い化粧をして
まわりを
笑わせています



外のにぎやかさに
アマテラスは驚きます



なによ
私がいなくなつたら
みんな悲しむはずなのに
どうして
そんなに楽しそうな
声がするのよ!?

と
思わず
扉の岩を
細く開きました



ぴかっ



